

I 事業の概要

1 事業及び報告書の目的

(1) 事業の目的

東日本大震災から8年となるが、被災地では依然として、長期の避難生活や生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安や悩みを抱え、また、配偶者等からの暴力等女性に対する暴力も発生している。

内閣府では平成23年度から、女性相談を行っている全国の女性支援団体から相談員を被災地に派遣し、地元の地方公共団体及び特定非営利活動法人等と協力して、女性のための相談事業を実施している。

平成31年(令和元年)度においても、行政と民間による切れ目のない支援を目指し、引き続き福島県において、女性の悩み相談を受け付ける臨時相談窓口を開設し、必要に応じて関係機関につなぐ取組を実施するとともに、福島県内市町村の相談機能の向上に資する研修を継続実施することにより、被災者の心の復興及び被災地の復興を図ることを目的とする。

(2) 本報告書の目的

「東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業」については、平成31年4月1日以降も福島県において継続して実施することとなり、今後の相談事業の参考とするため、平成31年(令和元年)度を実施した相談事業において、相談員が受けた相談内容等について集計した。

2 事業の運営体制

- (1) 主催 内閣府
- (2) 共催 福島県
- (3) 協力団体 NPO 法人ウィメンズスペースふくしま
- (4) 事務局 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

実施体制図



3 相談受付期間

平成31年4月1日（月）から令和2年3月31日（火）まで

なお、電話相談については、令和元年10月15日（火）～31日（木）は、台風19号による被害のため、相談業務を中止した。

4 相談の対象

- ・ 震災に関連する女性の悩み全般に関する相談
- ・ 配偶者等からの暴力や性犯罪などに関する相談

5 相談対応の種類

電話相談、面接相談等

電話相談名称：「女性のための電話相談 ふくしま」

番号：0120-207-440（全国フリーコール）

6 相談受付曜日・時間

(1) 面接相談

場所	受付曜日	受付時間
いわき市	第2土・4水	10時～16時

(2) 電話相談

受付曜日	受付時間
月～金（祝日除く）	10時～17時

7 電話システム

電話相談の実施（原発事故に起因する県外避難者の多い福島県のみ）に当たっては、避難先（日本全国）から発信された固定電話、公衆電話、携帯電話からの相談を受け付けるフリーコールシステム（通話料無料）とした。

8 グループ活動

集会所等において、被災者が様々な思いを語り合ったり、手仕事などの作業を行いながら悩みや不安を打ち明け合ったりするグループ活動を20件行った。

活動内容	件数
おしゃべりカフェ「コスモス」 子育てママさんたちの集い「ママ友さろん」	20

II 事業の実施体制

1 相談拠点と相談体制

福島県に2か所の窓口を設置し、地元相談員計13人が被災者の相談を受けた。

市町村名	人数
郡山市	11
いわき市	2
合計	13

2 社会資源リスト

本事業の実施に当たっては、国や関係地方公共団体が実施している被災者のこころのケアや孤立防止に関する支援事業や被災者への支援制度等に関する情報を収集するとともに、男女共同参画センターや配偶者暴力相談支援センター、性暴力被害者ワンストップ支援センター、法テラス、民間支援団体などの情報を取りまとめ、相談内容に応じて、相談員が相談者に紹介できる社会資源台帳を作成し、福島県の各相談拠点に設置した。

3 アドバイザー派遣

全国からアドバイザーを派遣し、福島県において相談対応に携わる地元相談員及び被災3県の行政機関において、相談業務に従事する担当者を対象とする事例検討会、スーパービジョン及び研修会を開催した。

※スーパービジョンとは、専門性の高い、全国からの派遣相談員による個別具体的なアドバイス。

(1) 実施回数・時間

	計
回数	9
時間	22

(2) 実施内容

【福島県】

	日時	場所	内容等	人
1	5月30日(木) 13:00-16:00	浪江町役場	○小講義：女性の悩み・暴力相談に対するの基本的な対応姿勢など ○スーパーバイザー：認定特定非営利活動法人ウイメンズハウスとちぎカウンセラー 藤平裕子	3
2	7月12日(金) 17:30-19:30	郡山相談拠点	○スーパービジョン：被災女性からの相談 ○スーパーバイザー：フェミニストカウンセリング堺 フェミニストカウンセラー 加藤伊都子	8
3	7月13日(土) 13:30-16:00	郡山市労働福祉会館	○講義「母娘関係を考える」 ○講師：フェミニストカウンセリング堺 フェミニストカウンセラー 加藤伊都子	17
4	7月24日(水) 10:30-14:00	福島県女性のための相談支援センター	○事例検討：被虐待、DV被害、窃盗、自傷等 ○講師：ファミリーカウンセリングの母親研究所代表 坂本州子	34
5	9月20日(金) 17:30-19:30	郡山相談拠点	○スーパービジョン：DV被害者支援 ○スーパーバイザー：ウイメンズカウンセリング京都 フェミニストカウンセラー 竹之下雅代	7
6	9月21日(土) 13:30-16:00	郡山市総合福祉センター	○講義「DVによる子どもへの影響～見えにくい被害の実態～」 ○講師：ウイメンズカウンセリング京都 フェミニストカウンセラー 竹之下雅代	22
7	11月23日(土) 13:30-15:30	郡山市中央公民館	○講義：多様な性を認め合う～すべての人が自分らしく生きられる社会を目指して～ ○講師：福島学院大学副学長 梅宮れいか	18
8	2月11日(火) 14:00-16:00	福島県男女共生センター	○スーパービジョン：デートDV ○スーパーバイザー：名古屋市男女平等参画推進室 相談担当主査 村瀬優子	5
9	2月15日(土) 13:30-15:30	郡山市総合福祉センター	○講師：自己尊重トレーニング ○講師：認定特定非営利活動法人ウイメンズハウスとちぎカウンセラー 藤平裕子	14

※アドバイザー派遣の中止

- ・台風19号による郡山相談拠点の浸水被害のため（10月26日）
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため（2月29日・3月7日）

4 行政機関の相談機能向上研修

福島県の意向に基づき、配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画センター、児童相談所または市町村の相談窓口等において、生活上の悩みや配偶者等からの暴力に関する相談を受けている、または東日本大震災被災者等からの相談を受けている、これから受ける予定である（民間団体含む）担当者や相談員等を対象とする研修を実施した。

（第1回）

- ・とき 令和元年9月27日（水）10時～16時
- ・ところ 福島県男女共生センター 第3研修室
- ・参加者 15名

	テーマ等	講師
1	講義「男女共同参画の視点を取り入れた相談対応」 ※性の多様性の講義を含む。	認定NPO法人女性のスペース結 副代表理事 中村敏子
2	講義・事例検討「DV被害者とその子どもへの対応」	NPO法人全国女性シェルターネット 理事 近藤恵子

（第2回）

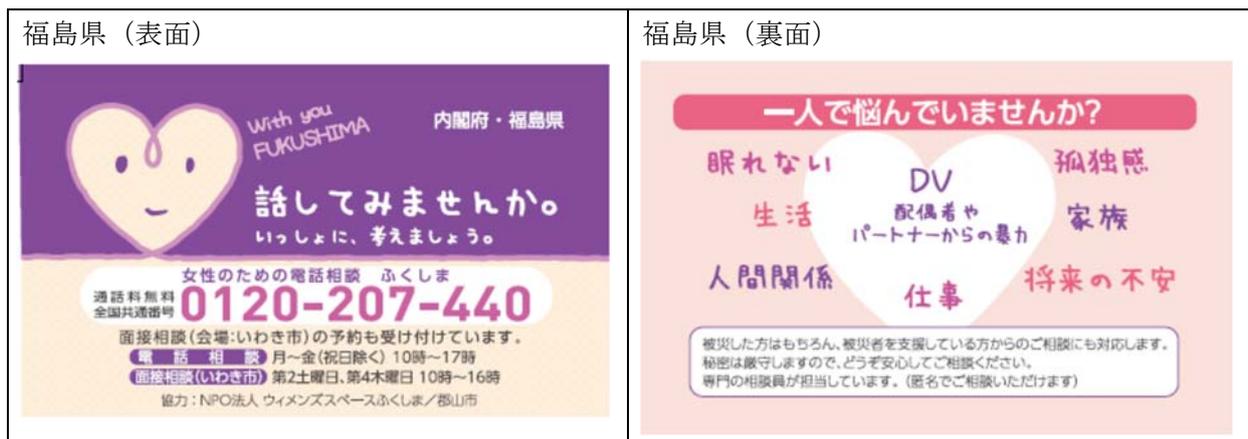
- ・とき 令和元年10月31日（木）10時～16時
- ・ところ 福島県男女共生センター 第3研修室
- ・参加者 13名

	テーマ等	講師
1	講義「シングルマザーとその子どもへの支援」	NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長 赤石千衣子
2	講義・ワークショップ「対人援助の基本」	社会福祉士 石本宗子

5 広報

(1) 携帯用カード（両面印刷）

名刺サイズの携帯用カードを4万枚作成し、福島県内の相談拠点、県内各市町村の窓口、仮設住宅や集会所に配置するなどした。また県や市で独自にチラシ等を作成・印刷し、更なる周知を図った。



(2) チラシ

面接相談（いわき相談会場）については、チラシを1,000枚作成し、いわき市内の行政機関や支援者を中心に配布した。



(3) 掲載等

掲載・発行・放送日等	媒体
平成31年4月～令和2年3月	広報こおりやま
令和元年5月4日、8月17日、 令和2年1月4日、2月8日・15日	週刊郡山ザ・ウィークリー
令和元年6月7日・28日、9月13日、12月1日、 令和2年1月1日・24日、2月7日	リビング郡山
令和元年6月28日発行	福島県町村会発行広報誌「ふくしま自治712号」

令和2年1月21日発行	福島県避難者向け広報誌「ふくしまの今がわかる新聞第77号」
令和2年3月1日	月刊タウン誌 街の灯こおりやま
放送期間：令和2年3月	福島県内民放4局TV、ラジオ2局CM(30秒)
令和2年3月発行	福島県男女共生センター広報誌「未来館NEWS74号」